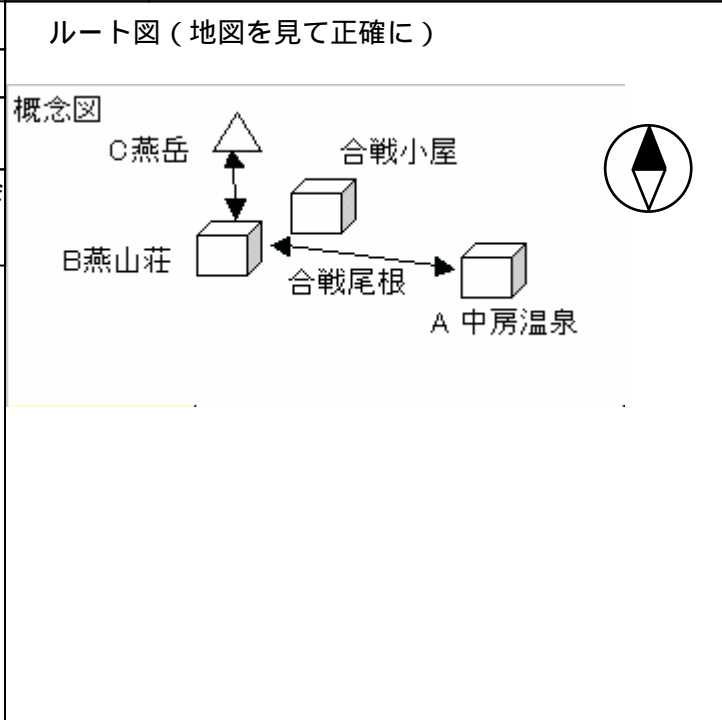


7月度個人山行報告書			報告者	長島博美	参加メンバー	CL：芦田直之 藤田健治、渡辺 勝利、 片山 嘉夫、長島 博美
			報告日	'05 7/28		
山域	北アルプス	山行日	2005年7月23日		24日	
山名	燕岳					

山行目的	ポッカ訓練	コースタイム(天候：天気図記号)
------	-------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会
担当者



土曜日(天候)

6:15 刈谷発
11:10 中房温泉駐車場発
(有明荘前)
11:53-12:05 第一ベンチ直前
12:34-12:43 第二ベンチ
(標高 1,820m)
13:15-13:25 第三ベンチ
14:05-14:15 富士見
14:45-15:10 合戦小屋で
小休憩
16:05 燕山荘前テント
サイト着
20:30 就寝

日曜日(天候)

4:00 起床
4:30 発
4:50 燕岳山頂
5:15 山頂発
5:45 テン場着

朝食後

7:40 テン場発
8:05 合戦頭通過
8:10-8:30 合戦小屋で小休憩
9:40-10:00 第二ベンチ
10:18 第一ベンチ
10:40 登山口
11:00 中房温泉駐車場着
(有明荘前)
18:00 刈谷着

CLが寝坊するというハプニングにより、45分遅れの出発。中房の駐車場を出たのはなんと11時10分。今回はポッカ訓練であり、15kgから20kgほどを背負った。登れば登るほど下山者とすれ違った。登りは曇り。途中小雨がパラついたが、恵みの涼みといった感じで、夏の盛りにもかかわらず涼しく合戦小屋に到着。各ベンチが間隔よく設置されているので、時計を見ていなくても休憩のタイミングが分かり、また休憩の場所を探す手間も省けた。道もベンチ同様、非常によく整備されていた。「天皇陛下や皇太子が来る山は整備されるんだよ」と一つ豆知識。合戦小屋から燕山荘まで1ピッチ。テン場にテントを張り、燕山荘にて休憩中、ブロッケン現象。私は初の遭遇であった。自分の影が雲に写るのだが、自分を中心に光が当たっているように見えたり、また影も濃くはつきりと出ていたり、時間も長かったりと、自然の作り出す偶然にひと時童心に戻った。ブロッケン現象をたんのうした後、テン場に戻り食事の準備。2週間後の夏合宿の食事当番の練習も兼ねて、燕岳では夜ご飯を担当。チラシ寿司を出したら先輩方に大変好評であった。20時30分就寝。翌日、ひんやりとした空気の中、左手に北アルプスを見つ、チョウヤコマクサの群生の中を通り抜け、山頂直前の開けた場所でご来光を拝んだ後、ゆっくりと燕岳山頂着。朝日に輝く槍ヶ岳の雄姿を見て、いつか登ってみたいと思わずにいられなかった。常念岳も見えた。テン場に戻り、朝食後下山。途中合戦小屋では、甘くて冷たい名物のスイカで喉を潤し、後は登山口まで駆けるように下山した。私はこれが初の夏山であったが、夏の典型と言われるすべてを兼ね備えた、とても幸運に恵まれた山行であったと、先輩方から声を揃えて言われた。来年の夏が楽しみである。

リーダー所見 報告通りの幸運続きだったが、4時にテン場に到着したのになんとかテントを張れた点も幸運と言える。今後、出発遅れによりテントが張れなくなることはないよう、計画はなるべく前夜泊としたい。

コマクサ、渡辺氏はそれを「この世で最も可憐な花」と形容する



確認(リーダー)

芦田 05/08/19

作成報告者

長島博美 05/7/28